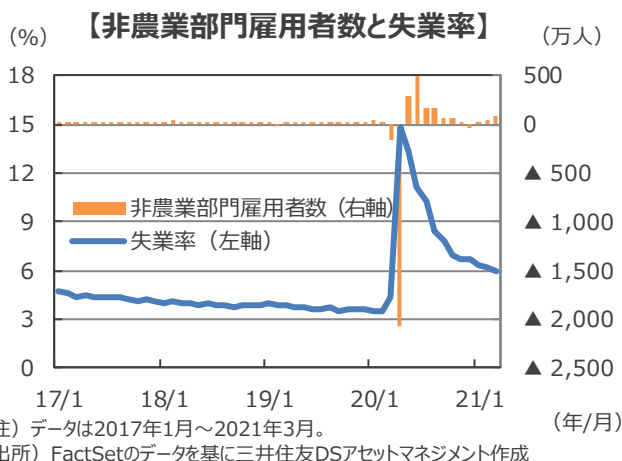


今日のトピック 米雇用統計、91.6万人増で株式市場の上昇を後押し 感染の落ち着き、経済再開から雇用大幅増加

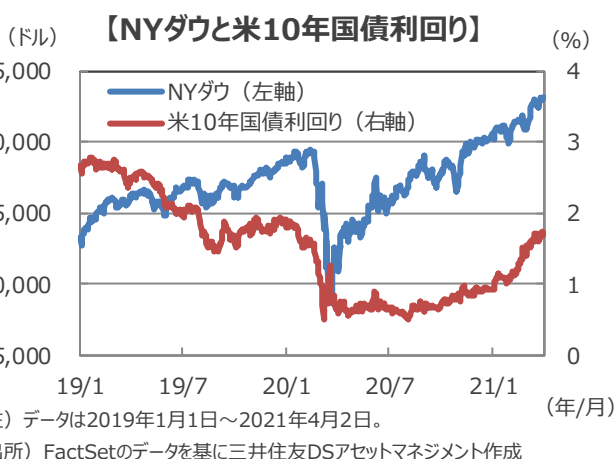
ポイント1 失業率は6.0%に低下 米雇用者数は91.6万人増

- 米労働省が4月2日に発表した21年3月の雇用統計では、失業率が6.0%と前月（6.2%）から0.2%ポイント低下しました。非農業部門雇用者数は前月から91.6万人増となり、事前の市場予想対比で良好な内容でした。
- 前月に米南部を襲った寒波の影響が一巡したことや、新型コロナウイルスの新規感染の鈍化を受けた経済再開の動きが雇用の回復要因となりました。



ポイント2 今後も雇用回復継続へ

- 米国ではワクチン接種が順調に進んでいます。また、今後はバイデン政権による家計向け給付金をはじめとした大型景気対策の効果があらわれてきます。こうしたことから今後も雇用の回復は続くと考えています。
- リスクは変異株の拡大です。欧州の変異株による新型コロナウイルスの感染再拡大はワクチン接種の遅れが主因と見られます。米国ではワクチン接種が進んでいますが、有効性が低下して感染が拡大すると、雇用回復へのリスクとなります。



今後の展開 経済再開に伴い株高継続へ

- 2日の米国株式市場はイースターのため休場でした。しかし、株式先物は雇用統計を受けて上昇しました。米10年金利も上昇しています。
- 今後もワクチン接種による感染の落ち着きや、経済再開の動きが続くことによって景気や企業業績が回復するに従い株式市場も上昇基調を維持すると見ています。バイデン政権による景気対策が今後も出てくると考えられることも株式市場の押し上げ材料です。
- リスクとしては、経済再開の本格化によって早期の金融緩和縮小が意識されることや、変異株の拡大によって経済再開の動きが鈍化したり途絶えることなどが挙げられます。

ここもチェック! 2021年3月26日 創造的破壊から正常サイクルへの回帰
2021年3月18日 FOMCの結果からみる、米株へのインプリケーション

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。